

SchTasks.exe を使用してタスクを作成してタスク スケジューラを管理

Schtasks.exe コマンド ライン インターフェイス ユーティリティを使用すると、管理者は、コマンド シェル から、ローカル システムまたはリモート システムでスケジュールされたタスクを作成、削除、クエリ、変更、実行、および終了することができます。次に、このユーティリティの構文とパラメーターの概要を示します。

コマンド構文

Schtasks.exe コマンド ライン インターフェイスでは、次の構文を使用します。
SCHTASKS /コマンドパラメーター /引数パラメーター

コマンドのパラメーター

Schtasks.exe で使用できるコマンドパラメーターは次のとおりです。

- 1 /Create: スケジュールされたタスクを新しく作成します。
- 2 /Delete: スケジュールされたタスクを削除します。
- 3 /Query: スケジュールされたすべてのタスクを表示します。
- 4 /Change: スケジュールされたタスクのプロパティを変更します。
- 5 /Run: スケジュールされたタスクをすぐに実行します。
- 6 /End: 現在実行中のスケジュールされたタスクを停止します。
- 7 /?: ヘルプ メッセージを表示します。(コマンドパラメーターの後ろに /? を付ける。)

コマンド ライン構文の表記規則 (適用対象: Windows 7, Windows Server 2008 R2, Windows Vista)

次の表に、コマンド ライン構文を示すために使用される表記規則の説明を示します。

表記	説明
角かっこ[] または 中かっこ{ } がないテキスト	表記されているとおりに入力する必須パラメーターのテキスト
[角かっこ内のテキスト]	値を指定する必要があるプレースホルダー
{中かっこ内のテキスト}	省略可能な項目
縦棒:	1 つを選択する必要がある必須項目のセット
省略記号: ...	1 つを選択する必要がある項目の区 繰り返指定できる項目

※ 以下は 管理者:コマンドプロンプト に記載されている内容のコピーです。

1 /Create: スケジュールされたタスクを新しく作成します。

C:\WINDOWS\system32>SCHTASKS /Create /?

```
[/S システム [/U ユーザー名 [/P [パスワード]]]]  
[/RU ユーザー名 [/RP パスワード]] /SC スケジュール [/MO 修飾子] [/D 日]  
[/M 月] [/I アイドル時間] /TN タスク名 /TR 実行タスク [/ST 開始時刻]  
[/RI 間隔] [{/ET 終了時刻 | /DU 継続時間}] [/K] [/XML xmlファイル] [/V1]  
[/SD 開始日] [/ED 終了日] [/IT | /NP] [/Z] [/F] [/HRESULT] [/?]
```

```
schtasks /Create  
[/S system [/U username [/P [password]]]]  
[/RU username [/RP [password]] /SC schedule [/MO modifier] [/D day]  
[/M months] [/I idletime] /TN taskname /TR taskrun [/ST starttime]  
[/RI interval] [{/ET endtime | /DU duration}] [/K]  
[/XML xmlfile] [/V1] [/SD startdate] [/ED enddate] [/IT] [/Z] [/F]
```

説明: 管理者がローカルまたはリモートのシステム上にスケジュールタスクを作成します。
タスク スケジューラ に tn:タスク名 にて タスク が登録されます。

引数パラメーター一覧:

/S システム 接続先のリモートシステムを指定します。システム
パラメーターを省略すると、既定値によりローカルシステム
になります。

/U ユーザー名 SchTasks.exe が実行されるユーザーコンテキストを指定します。

/P [パスワード] 与えられたユーザーのコンテキストのパスワードを指定します。省略すると入力が促されます。

/RU ユーザー名 タスクの実行に使う実行ユーザーアカウント (ユーザーコンテキスト) を指定します。システムアカウントの有効な値は ""、"NT AUTHORITY¥SYSTEM"、または "SYSTEM" です。
v2 タスクには、"NT AUTHORITY¥LOCALSERVICE" と "NT AUTHORITY¥NETWORKSERVICE" も 3 つすべての 3 つすべてに対して既知の SID と同じく利用できます。

/RP パスワード 実行ユーザーのパスワードを指定します。
パスワードを要求するには、値は "*" または 空である必要があります。システムアカウントではこのパスワードは無視されます。/RU または /XML スイッチのいずれかと合わせる必要があります。

/SC スケジュール スケジュールの頻度を指定します。
有効なスケジュールの種類は MINUTE、HOURLY、DAILY、WEEKLY、MONTHLY、ONCE、ONSTART、ONLOGON、ONIDLE、ONEVENT です。

/MO 修飾子 スケジュールの種類を詳細に指定して、スケジュールの頻度に関してより細かな制御を行います。有効な値は、下の "修飾子" の節に記述されています。

/D 日 タスクを実行する曜日を指定します。有効な値は、MON、TUE、WED、THU、FRI、SAT および SUN です。
月の指定 (MONTHLY) の場合は、日を 1 から 31 の間で指定します。ワイルドカード "*" を使うとすべての日を指定できます。

/M 月 月を指定します。既定の日は月の最初のひになります。
有効な値は JAN、FEB、MAR、APR、MAY、JUN、JUL、AUG、SEP、OCT、NOV および DEC です。ワイルドカード "*" を使うとすべての月が指定できます。

/I アイドル時間 待期するアイドル時間を指定します。このアイドル時間の待期後にスケジュールされた ONIDLE のタスクが実行されます。有効な範囲は、1 から 999 分です。

/TN タスク名 このスケジュールタスクを一意に識別するための文字列をパス名の形式で指定します。

/TR 実行タスク スケジュールされた時刻に実行するプログラムのパスおよびファイル名を指定します。
例: C:¥windows¥system32¥calc.exe

/ST 開始時刻 タスクを実行する開始時刻を指定します。時刻は HH:mm の形式 (24 時間形式) です。たとえば、午後 2 時 30 分 の場合は 14:30 と指定します。/ST が指定されていない場合の既定値は現在の時刻です。
このオプションは /S ONCE と併用する必要があります。

/RI 間隔 繰り返す間隔を分で指定します。これは次のスケジュールの種類には適用できません: MINUTE、HOURLY、ONSTART、ONLOGON、ONIDLE、ONEVENT。
有効な範囲: 1 - 599940 分。
/ET または /DU が指定されている場合、既定値は 10 分になります。

/ET 終了時刻 タスクの実行を終了する時刻を指定します。時刻の形式は HH:mm (24 時間形式) です。たとえば、午後 2 時 50 分 の場合は 14:50 と指定します。次のスケジュールの種類には適用できません: ONSTART、ONLOGON、ONIDLE、ONEVENT。

/DU 継続時間 タスクを実行する継続時間を指定します。時間は HH:mm の形式です。これは /ET と共には適用されません。また、次のスケジュールの種類には適用されません: ONSTART、ONLOGON、ONIDLE、ONEVENT。
/V1 タスクの場合、/RI が指定されると、既定値は 1 時間になります。

/K 終了時刻または継続時間にタスクを終了します。これは次のスケジュールの種類には適用されません: ONSTART、ONLOGON、ONIDLE、ONEVENT。/ET または /DU を指定する必要があります。

/SD 開始日 タスクを実行する最初の日を指定します。形式は yyyy/mm/dd です。既定値は現在の日付です。これは次のスケジュールの種類には適用されません: ONCE、ONSTART、ONLOGON、ONIDLE、ONEVENT。

/ED 終了日 タスクを実行する最後の日を指定してください。形式は yyyy/mm/dd です。これは次のスケジュールの種類には適用されません: ONCE、ONSTART、ONLOGON、ONIDLE、ONEVENT。

/EC チャンネル名 OnEvent トリガーに対するイベントのチャンネルを指定します、
/IT ジョブの実行時に /RU ユーザーが現在ログオンしている場合にのみ、タスクが対話的に実行されるようにします。このタスクは、ユーザーがログインしている場合にのみ実行します。

/NP パスワードは保存されません。タスクは特定のユーザーとして非対話的に実行されます。
ローカルリソースしか使用できません。

/Z 最後の実行後で削除するタスクをマークします、
/XML XMLファイル ファイル内で指定されているタスク XML からタスクを作成します。タスク XML に既にプリンシパルが含まれている場合は、
/RU および /RP スイッチ、または /RP 単体と組み合わせることができます。

/V1 Vista以前のプラットフォームで表示するタスクを作成します。/XML との互換性はありません。

/F 指定したタスクが既に存在する場合、タスクを強制的に作成し、警告を抑制します。

/RLレベル ジョブの実行レベルを設定します。有効な値は LIMITED と HIGHEST です。既定値は LIMITED です。

/DELAT 遅延時間 トリガーの開始後から、タスクが実行するまでの待機時間を指定します。時間の形式は hh:mm:ss です。このオプションはONSTART、ONLOGON、ONEVENT の種類のスケジュールにのみ有効です。

/HRESULT 診断能力を向上させるためにプロセス終了コードは HRESULT 形式になります。

/? このヘルプを表示します、

修飾子: /MOスイッチでスケジュールの各種類に利用できる値:

MINUTE:	1 から 1439(分)
HOURLT:	1 から 23(時)
DAILT:	1 から 365(日)
WEEKLT:	1 から 52(週)
ONCE:	修飾子なし
ONSTART:	修飾子なし
ONLOGON:	修飾子なし
ONIDLE:	修飾子なし
MONTHLT:	1 から 12(月)または FIRST、SECOND、THIRD、FOURTH、LAST、LASTDAY
ONEVENT:	XPathイベントのクエリ文字列。

例:

- ==> ユーザー "runasuser" の下で 1 時間ごとに notepad.exe を実行する
スケジュールタスク "doc" をリモートコンピューター "ABC" に作成します。

```
SCHTASKS /Create /S ABC /U user /P password /RU runasuser  
/RP runaspassword /SC HOURLY /TN doc /TR notepad
```

- ==> リモートコンピューター "ABC" にスケジュールタスク "accountant"
を作成し、開始日と終了日の間、指定された開始時刻から終了時刻の
間で 5 分ごとに calc.exe を実行します。

```
SCHTASKS /Create /S ABC /U domain¥user /P password /SC MINUTE  
/MO 5 /TN accountant /TR calc.exe /ST 12:00 /ET 14:00  
/SD 06/06/2006 /ED 06/06/2006 /RU 実行ユーザー  
/RPユーザーパスワード
```

- ==> スケジュールタスク "gametime" を作成し、毎月第一日曜日
にフリーセルを実行します

```
SCHTASKS /Create /SC MONTHLY /MO first /D SUN /TN gametime  
/TR c:¥windows¥system32¥freecell
```

- ==> リモートコンピューター "ABC" にスケジュールタスク "report"
を作成し、毎週 notepad.exe を実行します。

```
SCHTASKS /Create /S ABC /U user /P password /RU runasuser  
/RP runaspassword /SC WEEKLY /TN report /TR notepad.exe
```

- ==> リモートコンピューター "ABC" スケジュールタスク
"logtracker" を作成し、指定の開始時刻から5分ごとに
notepad.exe を実行します。/RPパスワードの入力を促されます。

```
SCHTASKS /Create /S ABC /U domain¥user /P password /SC MINUTE  
/MO 5 /TN logtracker  
/TR c:¥windows¥system32¥notepad.exe /ST 18:30  
/RU runasuser /RP
```

- ==> スケジュールタスク "gaming" を作成して freecell.exe を毎日
12:00 に開始し、自動的に 14:00 に終了するようにします。

```
SCHTASKS /Create /SC DAILY /TN ゲーム /TR c:¥freecell /ST 12:00  
/ET 14:00 /K
```

- ==> スケジュールタスク "EventLog" を作成し、システムチャネル
イベント 101 が発行された場合は常に wevtvwr.msc wo を実行
します。

```
SCHTASKS /Create /TN EventLog /TR wevtvwr.msc wo /SC ONEVENT  
/EC System /MO *[System/EventID=101]
```

- ==> ファイルパスにスペースを含める場合は、CMD.EXE に対する引用符 1 組と、
合計 2 セット使用します。CMD の外側の引用符には二重引用符を使用する
必要があります。内側の引用符には一重引用符、またはエスケープした
二重引用符を使用できます:

誤? SCHTASKS /Create /tr "c:¥program files¥internet explorer¥iexplorer.exe"

<例1>で実証の結果 上記は誤? 下記が正? と判断する

正? SCHTASKS /Create /tr "c:¥program files¥internet explorer¥iexplorer.exe"

<例1> xmlファイルの記述が 下記の場合の コマンド (下記より 上記 誤? でなく 正? が
<Actions Context="Author">

```
<Exec>
  <Command>"C:\Program Files\Windows Media Player\wmplayer.exe"</Command>
  <Arguments>-c "G:\My Documents\My Music\NHKたいそう.wma"</Arguments>
</Exec>
</Actions>
```

```
schtasks /create /ru ***** /rp ##### /tn VBtest /sc ONCE /st 17:00 /tr "'C:\Program
Files\Windows Media Player\wmplayer.exe' -c 'G:\My Documents\My Music\NHK たい
そう.wma'"
```

tr:は最後に記入が良い (17時に ラジオ体操の音楽 を 一度 鳴らす。)

<例2> VBtest.xml が c:\Users\rhana\Desktop\ にある場合 の読み込ませるためのコマンド
schtasks /create /ru ***** /rp ##### /tn VBtest /xml c:\Users\rhana\Desktop\VBtest.xml

2 /Delete: スケジュールされたタスクを削除します。

C:\WINDOWS\system32>SCHTASKS /Delete /?

```
SCHTASKS /Delete [/S システム [/U ユーザー名 [/P [パスワード]]]
/TN タスク名 [/F][/HRESULT][/?]
```

```
schtasks /Delete
[/S system [/U username [/P [password]]]]
[/TN taskname] [/F]
```

説明: 1 つ以上のスケジュールタスクを削除します,

引数パラメーター一覧:

/S	システム	接続先のリモートシステムを指定します。
/U	ユーザー名	schtasks.exe が実行されるユーザー コンテキストを指定します。
/P	[パスワード]	指定されたユーザーのコンテキストのパスワードを 指定します。省略すると入力促されます。
/TN	タスク名	削除するタスクのパス名を指定します。 タスクをすべて削除するには、ワイルドカード "*" を使います。
/F		タスクを強制的に削除して、指定のタスクが実行中 でも警告を出力しません。
/HRESULT		診断能力を向上させるためにプロセス終了コードは HRESULT 形式になります。
/?		このヘルプを表示します。

例:

```
SCHTASKS /Delete /TN **** /F
SCHTASKS /Delete /TN "¥バックアップ¥バックアップと復元"
SCHTASKS /Delete /S システム /U ユーザー /P パスワード /TN "¥バックアップ¥復元開始"
SCHTASKS /Delete /S システム /U ユーザー /P パスワード /TN "¥バックアップ¥バックアップ開
```

3 /Query: スケジュールされたすべてのタスクを表示します。

C:\WINDOWS\system32>SCHTASKS /query /?

```
SCHTASKS /Query [/S システム [/U ユーザー名 [/P [パスワード]]]
[/FO 形式 [/XML [XMLの種類]][/NH][/V]
[/TN タスク名][/HRESULT][/?]
```

```
schtasks /Query  
[/S system [/U username [/P [password]]]]  
[/FO format | /XML [***.xml]] [/NH] [/V] [/TN taskname] [/?]
```

説明: 管理者がローカルまたはリモートのシステム上のスケジュールタスクを表示します。

引数パラメーター一覧:

/S システム 接続先のリモートシステムを指定します、
/U ユーザー名 schtasks.exe が実行されるユーザー
コンテキストを指定します。
/P [パスワード] 指定されたユーザーのコンテキストのパスワードを
指定します。省略すると入力促されます。
/FO 形式 出力形式を指定します。
有効な値は、TABLE、LIST および CSV です。
/NH 列ヘッダーが出力に表示されないように
指定します。これは、TABLE および CSV の形式でのみ有効です。
/V タスクの出力を詳細表示します。
/TN タスク名 情報を取得するタスクのパス名を ¥ 指定します、
指定しない場合、すべてが対象になります。
/XML [XMLの種類] タスクの定義を XML 形式で表示します。
XML の種類に ONE を指定すると、有効 XML ファイルが
1 つ連結して出力されます。
XML の種類を指定しないと、すべての XML タスク定義が
連結して出力されます。
/HRESULT 診断能力を向上させるためにプロセス終了コードは
HRESULT 形式になります。
/? このヘルプを表示します。

例:

```
SCHTASKS /Query  
SCHTASKS /Query /?  
SCHTASKS /Query /S system /U user /P password  
SCHTASKS /Query /FO LIST /V /S system /U user /P password  
SCHTASKS /Query /FO TABLE /NH /V
```

4 /Change: スケジュールされたタスクのプロパティを変更します。

C:\WINDOWS\system32>schtasks /Change /?

```
SCHTASKS /Change [/S システム [/U ユーザー名 [/P [パスワード]]]] /TN タスク名  
{[/RU 実行ユーザー] [/RP 実行者パスワード] [/TR 実行タスク] [/ST 開始時刻]  
[/RI 実行間隔] [/ET 終了時刻] | /DU 継続時間} [/K]  
[/SD 開始日] [/ED 終了日] [/ENABLE | /DISABLE] [/H] [/IT] [/Z]  
[/HRESULT] [/?]
```

```
schtasks /Change [/S <system> [/U <username> [/P [<password>]]]  
/TN <taskname> {[/RU <runasuser> [/RP <runaspassword>] [/TR <taskrun>]  
[/ST <starttime>] [/RI <interval>] [/ET <endtime> | /DU <duration>] [/K]  
[/SD <startdate>] [/ED <enddate>] [/ENABLE | /DISABLE] [/IT] [/Z] }
```

説明: スケジュールタスクで実行するプログラムや、実行に使用するユーザーアカウントやパスワード

引数パラメーター一覧:

/S システム 接続先のリモートシステムを指定します、
/U ユーザー名 schtasks.exe が実行されるユーザーコンテキストを
指定します。

/P [パスワード] 与えられたユーザーのコンテキストのパスワードを指定します。省略すると入力が促されます。

/TN タスク名 変更するタスクのパス名を¥指定します。

/RU 実行ユーザー タスクを実行するユーザーアカウントを変更します。システムアカウントに有効な値は ""、"NT AUTHORITY¥SYSTEM" または "SYSTEM" です。v2 タスクには、"NT AUTHORITY¥LOCALSERVICE" と "NT AUTHORITY¥NETWORKSERVICE" も 3 つすべての既知の SID と同じく利用できます。

/RP パスワード 既存のユーザーコンテキストまたは新しいユーザーアカウントのパスワードを新しく指定します。システムアカウントではこのパスワードは無視されます。

/TR 実行タスク スケジュールタスクにより実行される新しいプログラムを指定します。

/ST 開始時刻 タスクを実行する開始時刻を指定します。時刻は HH:mm (24 時間形式) の形式です。たとえば、午後 2 時 30 分は 14:30 と指定します。

/RI 間隔 繰り返す間隔を分で指定します。有効範囲:1 - 599940 (分)

/ET 終了時刻 タスクの実行を終了する時刻を指定します。時刻は HH:mm (24 時間形式) の形式です。たとえば、午後 2 時 50 分は 14:50 と指定します。

/DU 継続時間 タスクを実行する継続時間を指定します。時刻は HH:mm の形式です。これは /ET と同時には指定できません。

/K 終了時刻または継続時間にタスクを終了します。

/ENABLE スケジュールされたタスクを有効にします。

/DISABLE スケジュールされたタスクを無効にします。

/Z 最後の実行後で削除するタスクをマークします。

/DELAT 遅延時間 トリガーの開始後から、タスクが実行するまでの待機時間を指定します。時間の形式は mmm:ss です。このオプションは ONSTART、ONLOGON、ONEVENT の種類のスケジュールにのみ有効です。

/HRESULT 診断能力を向上させるためにプロセス終了コードは HRESULT 形式になります。

/? ヘルプを表示します。

例:

SCHTASKS /Change /RP password /TN "¥バックアップ¥バックアップと復元"

SCHTASKS /Change /TR restore.exe /TN "¥バックアップ¥復元開始"

SCHTASKS /Change /S system /U user /P password /RU newuser /TN "¥バックアップ¥バック

<例3>

schtasks /Change /rp ##### /tn VBtest /st 17:20

※ スリープ解除の 引数パラメーター がいないため スリープ解除後にタスク をさせたい場合は タスクスケジューラのプロパティ を手作業で変更するか、または スリープ解除を書き込んだ XML ファイ作成し、/XML 引数 を使って タスク スケジューラ に読み込ませて使用する必要があります。

5 /Run: スケジュールされたタスクをすぐに実行します。

C:\WINDOWS\system32>SCHTASKS /run /?

SCHTASKS/run [/S システム [/U ユーザー名 [/P [パスワード]]]] [/I]
/TN タスク名 [/HRESULT] [/?]

schtasks /Run
[/S system [/U username [/P [password]]]]
/TN taskname

説明: スケジュールされているタスクをオンデマンドで実行します。

引数パラメーター一覧:

/S システム	接続先のリモートシステムを指定します。
/U ユーザー名	schtasks.exe が実行されるユーザー コンテキストを指定します。
/P [パスワード]	指定されたユーザーのコンテキストのパスワード を指定します。省略すると入力促されます。
/I	すべての制約を無視し、タスクをすぐに実行します。
/TN タスク名	実行するタスクのパス名を ¥ 指定します。
/HRESULT	診断能力を向上させるためにプロセス終了コードは HRESULT 形式になります。
/?	このヘルプを表示します。

例:

SCHTASKS /Run /?

SCHTASKS /Run /TN "¥バックアップ¥バックアップ開始"

SCHTASKS /Run /S system /U user /P password /I /TN "¥バックアップ¥バックアップと復元"

6 /End: 現在実行中のスケジュールされたタスクを停止します。

C:¥WINDOWS¥system32>SCHTASKS /end /?

GCHTASKS /End [/Sシステム [/U ユーザー名 [/P [パスワード]]]]
/TNタスク名[/HRESULT][/?]

schtasks /End
[/S system [/U username [/P [password]]]]
/TN taskname

説明: 実行中のスケジュールタスクを停止します,

パラメーター一覧:

/S システム	接続先のリモートシステムを指定します。
/U ユーザー名	schtasks.exe が実行されるユーザー コンテキストを指定します。
/P [パスワード]	指定されたユーザーのコンテキストのパスワードを 指定します。省略すると入力促されます。
/TN	タスク名中斬するタスクのパス名を ¥ 指定します。
/HRESULT	診断能力を向上させるためにプロセス終了コードは HRESULT 形式になります。
/?	このヘルプを表示します。

例:

SCHTASKS /End /?

SCHTASKS /End /TN "¥バックアップ¥バックアップ開始"

SCHTASKS /End /S system /U user /P password /TN "¥バックアップ¥バックアップと復元"

7 /?: ヘルプ メッセージを表示します。

以上

※ 参考に MS英語版 を添付してあります。

MS英語版

Schtasks.exe

Enables an administrator to create, delete, query, change, run, and end scheduled tasks on a local or remote computer. Running Schtasks.exe without arguments displays the status and next run

Creating a Task

The following syntax is used to create a task on the local or remote computer.

```
schtasks /Create  
[/S system [/U username [/P [password]]]  
[/RU username [/RP [password]] /SC schedule [/MO modifier] [/D day]  
[/M months] [/I idletime] /TN taskname /TR taskrun [/ST starttime]  
[/RI interval] [ {/ET endtime | /DU duration} [/K]  
[/XML xmlfile] [/V1]] [/SD startdate] [/ED enddate] [/IT] [/Z] [/F]
```

Parameters

/S system

A value that specifies the remote computer to connect to. If omitted, the system parameter

/U username

A value that specifies the user context under which Schtasks.exe should run.

/P [password]

A value that specifies the password for a given user context. If omitted, Schtasks.exe prompts the

/RU username

A value that specifies the user context under which the task runs. For the system account, valid values are "", "NT AUTHORITY\SYSTEM", or "SYSTEM". For Task Scheduler 2.0 tasks, "NT AUTHORITY\LOCALSERVICE", and "NT AUTHORITY\NETWORKSERVICE" are also valid

/RP [password]

A value that specifies the password for the user specified with the /RU parameter. To prompt for

/SC schedule

A value that specifies the schedule frequency. Valid values are: MINUTE, HOURLY, DAILY,

/MO modifier

A value that refines the schedule type to allow for finer control over the schedule recurrence. Valid values are:

?MINUTE: 1 – 1439 minutes.

?HOURLY: 1 – 23 hours.

?DAILY: 1 – 365 days.

?WEEKLY: weeks 1 – 52.

?ONCE: No modifiers.

?ONSTART: No modifiers.

?ONLOGON: No modifiers.

?ONIDLE: No modifiers.

?MONTHLY: 1 – 12, or FIRST, SECOND, THIRD, FOURTH, LAST, and LASTDAY.

?ONEVENT: XPath event query string.

/D days

A value that specifies the day of the week to run the task. Valid values are: MON, TUE, WED, THU, FRI, SAT, SUN and for MONTHLY schedules 1 – 31 (days of the month). The wildcard

/M months

A value that specifies months of the year. Defaults to the first day of the month. Valid values are: JAN, FEB, MAR, APR, MAY, JUN, JUL, AUG, SEP, OCT, NOV, and DEC. The wildcard

/I idletime

A value that specifies the amount of idle time to wait before running a scheduled ONIDLE task.

/TN taskname

A value that specifies a name which uniquely identifies the scheduled task.

/TR taskrun

A value that specifies the path and file name of the task to be run at the scheduled time. For

/ST starttime

A value that specifies the start time to run the task. The time format is HH:mm (24-hour time). For example, 14:30 specifies 2:30PM. The default is the current time if /ST is not specified. This

/RI interval

A value that specifies the repetition interval in minutes. This is not applicable for the following schedule types: MINUTE, HOURLY, ONSTART, ONLOGON, ONIDLE, and ONEVENT. The valid range is 1 – 599940 minutes. If either the /ET or /DU parameters are specified, the default

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/ET endtime

A value that specifies the end time to run the task. The time format is HH:mm (24-hour time). For example, 14:50 specifies 2:50PM. This is not applicable for the following schedule types:

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/DU duration

A value that specifies the duration to run the task. The time format is HH:mm (24-hour time). For example, 14:50 specifies 2:50PM. This is not applicable with /ET and for the following schedule types: ONSTART, ONLOGON, ONIDLE, and ONEVENT. For /V1 tasks (Task Scheduler 1.0

Windows XP: This option is not available.

/K

A value that terminates the task at the end time or duration time. This is not applicable for the following schedule types: ONSTART, ONLOGON, ONIDLE, and ONEVENT. Either /ET or /DU

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/SD startdate

A value that specifies the first date on which to run the task. The format is mm/dd/yyyy. This value defaults to the current date. This is not applicable for the following schedule types: ONCE,

/ED enddate

A value that specifies the last date that the task will run. The format is mm/dd/yyyy. This is not applicable for the following schedule types: ONCE, ONSTART, ONLOGON, ONIDLE, and

`/EC ChannelName`

A value that specifies the event channel for ONEVENT triggers.

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

`/IT`

A value that enables the task to run interactively only if the `/RU` user is currently logged on at

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

`/NP`

A value that indicates that no password is stored. The task does not run interactively as the given

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

`/Z`

A value that marks the task to be deleted after its final run.

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

`/XML xmlfile`

A value that creates a task from an XML file. This parameter can be combined with `/RU` and `/RP`

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

`/V1`

A value that creates a task visible to Windows 2000, Windows Server 2003, and Windows XP

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

`/F`

A value that forcefully creates the task and suppresses warnings if the specified task already

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

`/RL level`

A value that sets the run level for the task. Valid values are LIMITED and HIGHEST. The default

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

`/DELAY delaytime`

A value that specifies the wait time to delay the task after the trigger is fired. The time format is

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

`/?`

A value that displays the help message for Schtasks.exe.

Remarks

When creating a task on a remote computer running on the Windows XP, Windows Server 2003,

You cannot create a non-interactive remote Task Scheduler 1.0 task (create a task by not using the /IT switch and using the /V1 switch) if the remote computer has the File and Printer Sharing firewall exception enabled and the Remote Scheduled Tasks Management firewall exception

----- Deleting a Task -----

The following syntax is used to delete one or more scheduled tasks.

```
schtasks /Delete  
[/S system [/U username [/P [password]]]]  
[/TN taskname] [/F]
```

Parameters

/S system

A value that specifies the remote computer to connect to. If omitted, the system parameter

/U username

A value that specifies the user context under which Schtasks.exe should run.

/P [password]

A value that specifies the password for the given user context. If omitted, Schtasks.exe prompts

/TN taskname

A value that specifies the name of the scheduled task to delete. The wildcard character (*) can be

/F

A value that forcefully deletes the task and suppresses warnings if the specified task is running.

/?

A value that displays Help for Schtasks.exe.

----- Running a Task -----

The following syntax is used to immediately run a scheduled task.

```
schtasks /Run  
[/S system [/U username [/P [password]]]]  
/TN taskname
```

Parameters

/S system

A value that specifies the remote computer to connect to. If omitted, the system parameter

/U username

A value that specifies the user context under which Schtasks.exe should run.

/P [password]

A value that specifies the password for the given user context. If omitted, Schtasks.exe prompts

/TN taskname

A value that specifies the name of the scheduled task to run.

/?

A value that displays Help for Schtasks.exe.

Ending a Running Task

The following syntax is used to stop a running scheduled task.

Note To stop a remote task from running, ensure that the remote computer has the File and

```
schtasks /End  
[/S system [/U username [/P [password]]]]  
/TN taskname
```

Parameters

/S system

A value that specifies the remote computer to connect to. If omitted, the system parameter

/U username

A value that specifies the user context under which Schtasks.exe should run.

/P [password]

A value that specifies the password for the given user context. If omitted, Schtasks.exe prompts

/TN taskname

A value that specifies the name of the scheduled task to stop.

/?

A value that displays Help for Schtasks.exe.

Querying for Task Information

The following syntax is used to display the scheduled tasks from the local or remote computer.

```
schtasks /Query  
[/S system [/U username [/P [password]]]]  
[/FO format [/XML] [/NH] [/V] [/TN taskname] [/?]
```

Parameters

/S system

A value that specifies the remote computer to connect to. If omitted, the system parameter

/U username

A value that specifies the user context under which Schtasks.exe should run.

/P [password]

A value that specifies the password for the given user context. If omitted, Schtasks.exe prompts

/FO format

A value that specifies the output format. The valid values are TABLE, LIST, and CSV.

/NH

A value that specifies that the column header should not be displayed in the output. This is valid

/V

A value that displays verbose task output.

Note If a task was scheduled to run only one time, then the displayed schedule information is

/TN taskname

A value that specifies the task name for which to retrieve the information. If no task name is

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/XML

A value that is used to display the task definitions in XML format.

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/?

A value that is used to display the Help for Schtasks.exe.

Changing a Task

The following syntax is used to change how the program runs, or change the user account and

`schtasks /Change`

`[/S system [/U username [/P [password]]] /TN taskname
{ [/RU runasuser] [/RP runaspassword] [/TR taskrun] [/ST starttime]
[/RI interval] [{/ET endtime | /DU duration} [/K]]
[/SD startdate] [/ED enddate] [/ENABLE | /DISABLE] [/IT] [/Z] }`

Parameters

/S system

A value that specifies the remote computer to connect to. If omitted, the system parameter

/U username

A value that specifies the user context under which Schtasks.exe should run.

/P [password]

A value that specifies the password for the given user context. If omitted, Schtasks.exe prompts

/TN taskname

A value that specifies which scheduled task to change.

/RU runasuser

A value that changes the user name (user context) under which the scheduled task will run. For the system account, valid values are "", "NT AUTHORITY\SYSTEM", or "SYSTEM". For Task Scheduler 2.0 tasks, "NT AUTHORITY\LOCALSERVICE" and "NT

/RP runaspassword

A value that specifies a new password for the existing user context or the password for a new user

/TR taskrun

A value that specifies a new program that the task will run.

/ST starttime

A value that specifies the start time to run the task. The time format is HH:mm (24-hour time).

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/RI interval

A value that specifies the repetition interval, in minutes. The valid range is 1 – 599940 minutes.

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/ET endtime

A value that specifies the end time for the task. The time format is HH:mm (24-hour time). For

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/DU duration

A value that specifies the duration to run the task. The time format is HH:mm (24-hour time). For

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/K

A value that terminates the task at the end time or duration time.

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/SD startdate

A value that specifies the first date on which to run the task. The format is mm/dd/yyyy.

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/ED enddate

A value that specifies the last date that the task will run. The format is mm/dd/yyyy.

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/IT

A value that enables the task to run interactively only if the /RU user is currently logged on at

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/RL level

A value that sets the run level for the task. Valid values are LIMITED and HIGHEST.

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/ENABLE

A value that enables the scheduled task. An enabled task can run, and a disabled task cannot run.

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/DISABLE

A value that disables the scheduled task from running.

Note If a remote Task Scheduler 1.0 task is disabled by Schtasks.exe and the remote computer has the File and Printer Sharing firewall exception enabled and the Remote Scheduled Tasks Management firewall exception disabled, then the task will not be disabled when read from a Task

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/Z

A value that marks the task to be deleted after its final run.

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/DELAY delaytime

A value that specifies the wait time to delay the running of the task after the trigger is fired. The time format is mmmm:ss. This option is only valid for tasks with the schedule types ONSTART,

Windows XP and Windows Server 2003: This option is not available.

/?

A value that displays the Help message for Schtasks.exe.
